

2014年6月研究会

日 時：2014年6月20日（金曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 6階大会議室

講演者：小倉 紀蔵（京都大学教授）

演 題：「継続と断絶・・・儒教思想の相反する二側面」

司 会：林廣茂（西安交通大学管理大学院客員教授、本学会代表理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

講師プロフィール

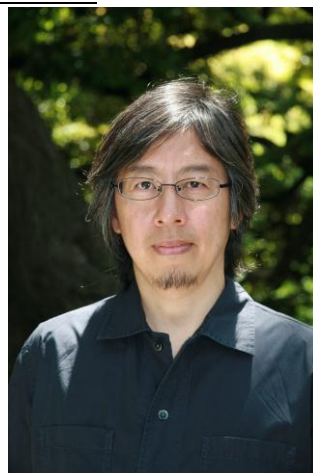
小倉 紀蔵（おぐら・きぞう）

1959年、東京都生まれ。京都大学教授。東京大学ドイツ文学科卒業、ソウル大学哲学科博士課程単位取得。専門は朝鮮半島の思想・文化、東アジア哲学。

NHK テレビ・ラジオハンゲル講座講師、「日韓友情年2005」実行委員、「日韓交流おまつり」実行委員、「日韓文化交流会議」委員などをつとめた。

主な著書に『韓国は一個の哲学である』『韓国人のしくみ』

『韓流インパクト』『歴史認識を乗り越える』（以上、講談社）、『韓国、ひき裂かれるコスモス』（平凡社）、『心で知る、韓国』（岩波書店）、『韓国、愛と思想の旅』（大修館書店）、『日中韓はひとつになれない』（角川書店）、『ハイブリッド化する日韓』（NTT出版）、『創造する東アジア文明・文化・ニヒリズム』『（いのち）は死なない』（以上春秋社）、『朱子学化する日本近代』（藤原書店）、『新聞・テレビが伝えなかった北朝鮮』（共著、角川書店）、『入門 朱子学と陽明学』『新しい論語』（以上、筑摩書房）などがある。



<講演要旨>

儒教は連続性の思想なのか、それとも断絶の思想なのか。この問いには、一概には答えられない。儒教のなかに、連続性の思想と断絶の思想の両側面が含まれているからだ。前者を代表するのは孔子であり、後者を代表するのは孟子である。このふたつの思想の背後には、生命観の根本的な違いがある。孔子は〈アニミズム〉的な世界観を持っていたのに対し、孟子は〈汎霊論〉的な世界観を持っていた。このふたつの生命観は、まったく異なるものである。

【研究会参加者 19名】